

第5次小金井市基本構想・後期基本計画（素案）に対する意見及び検討結果

意見募集期間：令和7年9月19日から同年10月31日まで

意見提出数：14人・30件

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
全施策について		個別事業に関する御意見について	<p>本計画案では、本市の最上位計画として、目指す姿、指標、施策の方向性などをお示ししており、より具体的な内容については、分野ごとに策定している個別の行政計画等にお示しするよう整理しています。</p> <p>このため、個別の事業や取組は原則記載しておりませんが、パブリックコメントの御意見につきましては、直接文案に反映できない場合でも計画策定の参考とさせていただくとともに、市の担当部署にお伝えさせていただいております。</p>
1	基本計画 （環境と都市基盤）	<p>第一3部1 道路全般のことです。具体的に何も触れられてないみたいですが、来年の道交法改正で、自転車が歩道を走れなくなります。これにより、自転車事故の増加、自動車の渋滞の増加が必至と思われます。今の道路事情では無理がある法律だと思います。なんとか道路を整備して欲しいです。</p>	<p>道路の交通整備については、施策7に掲載しております。法改正やニーズの変化に対応した交通安全の推進を図る必要があると考えます。</p> <p>いただいた御意見は市へ伝えさせていただきます。</p>
2	基本計画 （環境と都市基盤）	<p>第一3部1 具体的にどこかは示しませんが、横断歩道があつて然るべきところに無いという箇所がいくつかあります。また無駄な信号もあります。横断歩道が無いところを歩行者は渡ります。信号があつても意味が</p>	<p>横断歩道や信号の設置は公安委員会、それらの管理は警察署の管轄となりますので、直接市が指導等する立場にはございませんが、交通安全の推進を図るため、現在の交通環境に適合した交通安全施設の整備の必要があると考えます。</p> <p>いただいた御意見は市へ伝えさせていただきます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		ないので赤でも渡ります。 これら意味不明なものを調べ、改善して欲しいです。	
3	基本計画 (環境と都市基盤)	42 ページ 施策7 交通環境の整備 市内の道路環境を歩行者視線から見ますと、人車分離が十分ではない箇所があると感じられます。 例 小金井街道多摩信用金庫並びにスポーツ用品店前の歩道は狭小であり非常に危険 市内交差点においても、過去、痛々しい死亡事故が発生しております。構造的な問題は東京都の管轄で範疇外と割り切らず地権者様との話し合いなど協力的、継続的に取り組んでいただければ幸いです。	御意見の箇所は都道であり、東京都の管轄の道路となりますので、直接市が指導等する立場にはございませんが、都市計画道路の整備は、安全性の向上と利便性の高いネットワーク構築に必要なことと考えます。 いただいた御意見は市へお伝えさせていただきます。
4	基本計画 (地域と経済) (行政経営)	48 ページ 施策10 産業観光の振興 自分は他地域より移転して参りましたが、国分寺市、三鷹市など、また、自治体でもない吉祥寺などの知名度に比べますと小金井市は今一つ弱い感覚がございます。是非、北口エリアの再開発と並行して、例えば、「森と芸術の街」的な対外的コマーシャルを実施いただき、知名度を高めていただければと思います。	御提案いただいた対外的コマーシャルについては、個別に検討を要することから、基本計画に記載しておりませんが、今後施策を進める上で参考としていくべきものと考えます。
5	基本計画 (環境と都市基盤) (子どもと教育) (文化と生涯学習)	40 ページ他 (ページごとに記載させるのはいかがか。項目ごとの意見は少ないので、一括します) 「環境と都市基盤」に、「都市計画道路の整備」を掲げていますが、小金井市では、現在、優先整備路線をめぐる、大きな問題が起こっています。安易に「整備」などと記載することはやめていただきたい。都市計画道路は60年以上も前に決定されたもので、当時は住宅もなく、当時の人口は46000人(昭和35年)です。この時代に比べ、大きく変化した街と自然環境。改めて見直すことを記載すべきです。 施策6 都市インフラの整備で、都市計画道路の整備を主張されて	都市計画道路の整備については、交通の円滑化や地域の安全性など多様な機能を有するインフラであり、まちづくりをする上での重要な要素であると考えますが、基本計画では施策の方向性を示しており、個別の都市計画道路をどのように進めるかについては記載しておりません。 「生活道路の整備」や「下水道」については、施策6都市インフラの整備の施策の方向性のところで表現をしています。 その他、いただいた御意見については、個別に検討が必要な事業となりますので、本計画では定めておりませんが、事

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>いますが、もはや、大型道路建設で都市をつくることは時代遅れです。何よりも生活道路の整備、大型車両の進入禁止措置、歩行者が安全に歩けるように一方通行で歩行者用区分帯の設置や下水道管の点検整備に重点を置いていただきたい。特に下水管の点検をどのように進めていくか明らかにしていただきたい。</p> <p>学校環境では、学童保育の民間委託といった危険な対応は今後一切中止すること。</p> <p>公立保育園を廃止して、すべて民間に任せると言った方向性はやめて、5園体制の維持を歌ってほしい。</p> <p>公民館や図書館の民間委託でなく、責任ある行政の対応を明記すべきです。</p>	<p>業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。</p>
6	基本計画 (環境と都市基盤) (福祉と健康)	<p>高齢者の住宅補助を検討していただきたいです。</p>	<p>個別に検討を要する事業の詳細となるため、本計画案に記載しておりませんが、高齢化が進む中で、高齢者が安心して生活を送ることができるよう様々な支援を検討することは必要と考えますので、事業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。</p>
7	基本計画 (環境と都市基盤) 総合戦略	<p>P90 デジタル田園都市構想戦略</p> <p>田園都市の言葉の定義は英語の「ガーデンシティ」豊かな自然前提として環境的な付加価値（交通、消費活動）の高い都市構造と基盤インフラ、高い社会的な文化価値、所得をはじめとする住人の質の選別があることが大前提になると考える。実現には行政による都市計画と建築法規などへの介入は必須であり、利潤と規模の経済を優先する民間企業への委託などでは実現は不可能に近い。加えて市民の小規模な草の根的な文化活動でもそれら実現は困難である。特に学術的な教科書通りの都市計画に基づく「効率化」では付加価値は生まれない。生産緑地や建蔽率のような個々の住宅環境の計画的規</p>	<p>デジタル田園都市構想総合戦略については、人口減少が予想される将来において、デジタルの力を活用し、社会課題の解決やまちの魅力向上を図っていくことが大切だと考えます。</p> <p>いただいた御意見については、個別に検討を要する事業の詳細となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>制に加えて、規模を有する自然を維持するという大規模慈善事業を伴うためである。単にデジタル化と人口増加に基づく経済活動ではこの実現は不可能で、市民だけでなく企業まで含めたファンディング（ある程度の権利や運営決定権を許す）を募り、加えて市内生じる消費税や環境対策、固定資産税に対する税制優遇などと結び付けたデジタル数字上の市の経済収支上で可能となる経済の循環を促進し、その一部を環境整備に充てるべきであると考えます。</p>	
8	基本計画 （環境と 都市基盤） 総合戦略	<p>P42 交通環境の整備 小金井市はかなりの交通環境に消極的な都市計画であると思う。財政の観点から致し方ないことは重々承知しているが、田園都市計画を考えると都市構造の基盤は交通環境にあり地価上昇を鑑みると先行投資すべきは駅前再開発も去る事ながら交通環境のほうではなかろうか。用地買収と幹線道路（自転車専用道を有する）の南北・東西の他都市、隣接駅との接続（バスやトラムなど含め）、商業区（中央線高架下）の設定などに関しては、早急に方針を立て進めるべきである。また田園都市の基盤はバスではなく乗用車で構築されるべきであり、その観点で商業や教育などと自動車の繋がりも必須となる。それが難しいようであれば早急に電動化マイクロモビリティ特区（自転車と異なり税収が見込める）としての都市構造など、パーソナルな移動距離（ラストワンマイル）を電動化などで延ばす都市計画をするべきではないか。非常に簡単な例を挙げれば、飲食店といえは駅前にしかなく、車で行っても駐車場は大手のデパートを利用し、駅前で勤務後の趣味を終わらせた主婦は駅前で買い物もせず、バスで帰宅する。保育園や週末部活動のお迎えは細い一方通行の住宅街を車で走り抜け、待ち時間に何をすることもなく、帰りも買い物や飲食をするでもなく帰宅する。結果増えるのはコンビニと、幹線道路沿いの大手飲食チェーンのみ。繰り返しになるが経済は交通、人の流れによるが、小金井市の交通は駅</p>	<p>交通環境の整備については、地域の利便性の向上や活性化にとって重要な課題の一つであると認識しています。</p> <p>いただいた御意見については、個別に検討を要する事業の詳細となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		や学校と自宅を繋ぐ動線しかなく、東八沿いと駅前に集中した商業などは交通環境の検討・計画に今なお課題があるのではないかな。	
9	基本計画 (子どもと教育) (行政経営)	<p>P52-61：3子どもと教育について</p> <p>都型学童クラブ制度は令和9年度末で廃止が予定されています。今後は市独自財源で現行を維持するか、新たな東京都認証制度に移行するかの二択となりますが、持続可能な財政運営と指導員の処遇改善、子どもたちの生活環境の確保のためにも、市としては新認証への適合を早期に決断し準備を進めていただきたいと思います。現場では体験プログラムの導入など努力が見られるものの、制度移行に向けた市政の動きは見られず、保護者や指導員は将来の見通しを持ってない状況です。市として方針を明確にし、早急に準備を進めていただきたいと思います。</p> <p>特に学校教室の活用など、これまで直前対応に追われがちだった施設調整を前倒しし、まずは子どもたちがゆとりある空間で過ごせる環境を確保すること、そして現場の指導員が専門性を発揮できる職場環境を整えることは、市政の本来の責務ではないでしょうか。</p> <p>さらに、学童保育の定員不足は解消されておらず、今後の需要増にも応えられるよう、施設の新設を含めた検討をお願いしたいと考えます。その際には、通級指導教室や不登校支援、地域の集会機能などを取り込み、用途を柔軟に切り替えられる複合的な施設づくりを検討いただきたいと思います。特に1中・2小の敷地は市内でも最大級の広さがあり、上水グラウンドや特別支援学校、上水会館にも隣接しています。地域の学校を中心にしたコミュニティ拠点として再設計するには、絶好の立地だと考えます。</p>	<p>子どもたちの生活環境の充実は重要な課題であると認識しており、今後も取組に向けて関係部署で連携しながら検討を進めて行くべきものと考えています。</p> <p>いただいた御意見については、地域の財産を守り育てながら、子どもたちが安心して成長できる複合的な環境づくりができるよう、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えています。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>学童には、親たちが子どもの頃にお世話になった指導員さんが今もいて、世代を超えて顔が浮かぶようなつながりが残っています。こうした場所は、子どもをもつ親にとって“ふるさと”のように安心して子どもを託せる場所です。地域から羽ばたき、再び地域に戻ってきたときにこうした場所があることは、一市民としてとても誇らしく感じます。</p> <p>学童という枠にとどまらず、このような地域の財産を守り育てながら、子どもたちが安心して成長できる複合的な環境づくりを、市政のリーダーシップでぜひ進めていただきたいと願っています。</p>	
10	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>41 ページの都市計画道路の整備について、3 4 11 号線については消防車の到着が 30 分かかるためといった市議会議員のチラシを拝見しました。消防署の分団を東町 5 丁目の空き地に整備したらよいのではないのでしょうか？</p> <p>多額の税金を使用して現環境を壊して道路を開通させる必要性を感じません。</p>	<p>都市計画道路については、交通の円滑化や地域の安全性など多様な機能を有するインフラであり、まちづくりをする上での重要な要素であると考えます。</p> <p>いただいた御意見については、個別に検討を要する事業の詳細となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考として、市にお伝えさせていただきます。</p>
11	基本計画 (子どもと教育) (行政運営)	<p>55 ページの保育サービスの拡充について、市立保育園の廃園と進んでいます。なぜ建て替えて継続しないのでしょうか？市立保育園は福祉として必要だと感じます。市役所の建て替えよりも市立保育園の建て替えにお金を使うべきだと思います。</p>	<p>いただいた御意見については、個別に検討が必要な事業となりますので、本計画案では定めておりませんが、事業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。</p>
12	基本計画 (子どもと教育) (福祉と)	<p>原案 60-61 ページ 施策 16 学校環境の整備</p> <p>トイレの衛生環境に不安があります。</p> <p>洋式化が進み、子ども達が利用しやすいトイレになってきました</p>	<p>今後のトイレを含む学校環境の整備につきましては、衛生的で児童生徒等にとって使いやすいものへと改善していく取組が必要であると考えます。</p> <p>いただいた御意見については、事業を進めていく上での参</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
	健康) (文化と 生涯学習)	<p>が、壁面や床面の清掃やメンテナンスは追いついていないように感じられます。</p> <p>校舎の老朽化にともない、トイレもパイプの欠損による汚水の漏水があり、臭気が流れ込んでくることもありました。</p> <p>また、便器は洋式であっても、清浄のためのタンクや配管が古いせいか水圧不足で流れにくいところもあります。</p> <p>トイレがきれいでないせいで、小金井市の子ども達はあまりトイレに行かないといった話を聞きます。</p> <p>トイレに行くことを我慢することが原因で何らかの症状や、トイレに行きたくないから水分を摂らないことで夏場に熱中症にかかってしまうといった健康被害の恐れもあるかと思えます。</p> <p>学校は子ども達が長い期間・長い時間、生活を送る場所です。そして、集中して学習に取り組む場所であるので、安全かつ快適に、健康的に過ごせる場所であってほしいです。</p> <p>校舎の建て替えには数年待たなければなりませんが、その間も校舎の老朽化とトイレの衛生問題は続きます。</p> <p>今も市の方で清掃を週2回入れてもらってはいますが、清掃回数を増やすことや人員の増員、修繕にかかわる予算の増額などを進めていただくと幸いです。</p>	<p>考として、市へお伝えさせていただきます。</p>
13	基本計画 (子ども と教育) (文化と 生涯学習)	<p>原案 70-71 ページ 施策 21 スポーツの振興</p> <p>学校の体育館は子ども達の体育教育の他にも、地域のスポーツ活動にも利用されています。</p> <p>さまざまなスポーツ競技のラインが床面に塗装もしくはテープ貼付されていますが、長年の使用でところどころ剥げてきています。</p> <p>子ども達にも、スポーツはルールを遵守してプレイすることを身につけてほしいと思います。</p>	<p>学校の体育館は、その学校に通学する児童生徒だけでなく、施設を開放することにより、市民のスポーツ振興と体力づくりに寄与しているという認識です。</p> <p>いただいた御意見については、本計画案ではなく、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		ラインはどのスポーツでも遵守すべきルールです。だからこそラインは明瞭にわかるようにメンテナンスしてもらいたいです。 教育予算やスポーツ振興にあてる予算を増やしていただきたいです。	
14	基本計画 (子どもと教育)	<p>「60 ページ 施策 16 学校環境の整備に関する意見」</p> <p>小金井第三小学校のトイレについて、児童数が 860 人ほどものにトイレの清掃回数が少なすぎることや、老朽化によって配管などに問題があり、衛生的でない場合があるため、6 年生の娘は学校のトイレを使わないで帰宅している。私は、清掃ボランティアとして、月に一回トイレの清掃に参加しているが、低学年では大便が便器に溜まった状態で放置されていたり、男子の便器の外側に尿が飛び散っていることも多い。きちんと流す、便器の外には飛び散らないようにするなど、子供への社会的な教育が足りないという考えもあるが、こどもなので失敗することもある。やはり、もう少し清掃回数を増やす必要があると思う。</p> <p>西校舎 1 階男子トイレの配管が漏れていた件はようやく解決されたが、配管に問題があると思われる西校舎 3 階男子トイレはまだ工事に至っていない。また、以前、教室の冷房が故障した際に 1 か月以上修理や交換が行われなかったことがあった。</p> <p>・日常的な清掃・学校設備が壊れた時にすぐに修理することのできるシステムの構築、これが今老朽化している学校で学ぶ子供達の健康を守るために必要である。</p> <p>予算の確保が難しいということであれば、個人的には、給食無償化よりも、衛生環境の整備の方が優先順位が高いと思う。また、忙しい子育て世代としては、ボランティアでトイレを清掃するよりも、給食代金を支払う方がずっと楽である。</p>	<p>今後のトイレを含む学校環境の整備につきましては、衛生的で児童生徒等にとって使いやすいものへと改善していく取組が必要であると考えます。</p> <p>いただいた御意見については、事業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。</p>
15	基本計画	60 ページ施策 16 学校環境の整備に関する意見	今後のトイレを含む学校環境の整備につきましては、衛生

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
	(子どもと教育)	<p>学校施設長寿命化計画について、効率やコスト縮減は大事ですが、そればかりを優先させないで欲しいです。現在老朽化した校舎を使用している今の子ども達に皺寄せがないよう、予算の配分に注意していただきたいです。</p> <p>トイレ洋式化の前倒しは有り難かったのですが、空間自体は古く汚いまです。改修工事がすぐにできない分、定期清掃の曜日を増やしたり、専門業者の清掃回数を増やすなど。古いトイレの配管に欠損が起きたなら、その修繕が適時に行われるよう予備費を設けるなど。維持管理体制も大事にしていきたいです。</p>	<p>的で児童生徒等にとって使いやすいものへと改善していく取組が必要であると考えます。</p> <p>いただいた御意見については、事業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。</p>
16	基本計画 (策定にあたって)	<p>○12P ページ❷ 財政 についての意見</p> <p>・「歳出では、扶助費が長期的には増加傾向にあり」とあるが、適切な対象に適切な支出がなされているか（特に生活保護費）、確認してほしい。</p>	<p>いただいた御意見については、事業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。</p>
17	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>○施策5 住環境の整備についての意見</p> <p>・日常生活の妨げになる空き家がちらほらあるようだが、どこに通報したらよいか。</p>	<p>安全・安心な住環境の整備として、空家等対策の促進は重要な課題だと考えます。市によると、空家等への相談につきましては、空家等対策計画で整理をしており、令和7年度からまちづくり推進課が総合窓口となり、空家等の状況に応じて対応する各課への案内及び個々の空家等の対策について協議及び情報共有等を行っているとのこと。</p>
18	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>○施策6 都市インフラの整備</p> <p>・「楽しく歩けるまち」にしたいのならば、植栽の伐採を年2回ではなく3回程度に増やしてほしい。春～夏にかけて北大通のつつじが邪魔で、ただでさえ狭い歩道がさらに狭くなっており、交通に支障が出ている。</p>	<p>街路樹の植栽整備・維持管理については、施策6に掲載しております。歩行者・車両の安全の確保のため、街路樹の適切な維持管理は重要であると認識しております。</p> <p>いただいた御意見については、市へお伝えさせていただきます。</p>
19	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>○施策7 交通環境の整備 についての意見</p> <p>・放置自転車の抑制以前に、東小金井駅周辺は駐輪場が少なすぎる。</p>	<p>自転車駐車場の整備については、現状と課題において市としても課題を認識しており、施策の方向性「自転車活用の推</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
	都市基盤)	<p>駅前の整備にともなって北口の公共の駐輪場が閉鎖された影響で、梶野公園に駐輪している人が増えたのはご存知か。これやみくもに注意するのではなく、新しく公共の広い駐輪場を整備してほしい。東小金井駅前にもう1つ公園をつくるようだが、梶野公園もあるのにそんなものは必要ない。かわりに広い駐輪場を作してほしい。「自転車活用の推進」をしたいなら至急対応してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東小金井駅北口に「障がい者」だけが使える駐輪場があるが、本当に障がい者なのか。東小金井はそんなに障がい者だらけなのか。そもそも障がい者が自転車に乗れるのか。適切に認定されているか、確認してほしい。 	<p>進」において総合的に検討すると示しています。</p> <p>障がい者専用自転車駐車場については、小金井市有料自転車駐車場条例及び同条例施行規則に基づき確認を行っているものと認識しています。</p>
20	基本計画 (子どもと教育)	<p>○施策16 学校環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路上の防犯カメラを増やしてほしい。 ・公立小学校の和式トイレの改修工事を、優先順位を上げて今すぐに取り組んでほしい。便器のみならず換気設備も改修が必要。 ・公立小学校トイレの清掃回数や人員増加をしてほしい。 	<p>今後のトイレを含む学校環境の整備につきましては、衛生的で児童生徒等にとって使いやすいものへと改善していく取組が必要であると考えます。</p> <p>いただいた御意見については、事業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。</p>
21	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>ページ32～33</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの発生抑制3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進について、発生抑制を最優先とありますが、リユース(再使用)は処理経費もリデュースやリサイクルに比べ処理費用がかからず発制抑制に最も効果的です。リユース事業の基幹となるリサイクル事業所の閉館は問題です。再開をめざして下さい。 ・3Rに取り組んでいる市民は89%と高く、市民の意識は高い。可燃ごみ減量に最も効果がある。生ごみの資源化(分別回収)の拡充に積極的に取り組んで下さい。 ・日野市・国分寺市・小金井市の三市可燃ごみ共同処理施設 次は国分寺市か小金井市になります、処理施設建設までには長い期間(20～30年)かかります。今から具体的な検討を始めて下さい。 	<p>循環型社会の形成に向けた取組を実効あるものとするために、循環型社会形成推進基本法において3Rの考え方が明文化され、その優先順位は環境負荷が少ない順にリデュース、リユース、リサイクルと定められています。こうしたことも踏まえ、市はこれまでも発生抑制を最優先とした取組や啓発事業を行っており、引き続き市民・行政・事業者が一体となつてごみの減量に取り組むことが大切だと考えます。</p> <p>いただいた御意見については、個別に検討を要する事業の詳細となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
22	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>ページ 40～41</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路 3・4・1 号及 3・4・11 号線の計画は中止して下さい。 ・小金井市の良いところは「水と緑」これを大切にして下さい。道路建設によって貴重な自然が破壊され、再び戻ることはありません。 ・自動車の通行量も減っています。新しく道路をつくるより、今危険なところを安全・安心に通行できるようにして下さい。例えば連雀通り宮本医院から D2 ストアーまで歩道は極めて狭く、過去に接触事故がありました。拡幅が必要です。 	<p>都市計画道路の整備については、交通の円滑化や地域の安全性など多様な機能を有するインフラであり、まちづくりをする上での重要な要素であると考えますが、基本計画では施策の方向性を示しており、個別の都市計画道路をどのように進めるかについては記載しておりません。</p> <p>いただいた御意見については、事業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。</p>
23	基本計画 (福祉と健康)	<p>78～79 ページ</p> <p>「障害のある人が安心して暮していくための仕組づくり」</p> <p>例えば精神障害のある方は高齢になると合併症を併発する割合が高くなります。合併症や難病に対し、受け入れる病院が極めて少ない。特に ALS など併発した場合小金井市はおろか近隣市にも受け入れる病院がありません。ALS など難病を受け入れる病院をつくって下さい。</p>	<p>高齢、障がい等の様々な分野において受け入れてくれる医療機関が不足していることは大変重要な視点であると認識しています。支援体制の確保や医療機関との連携・協働は今後の検討課題であると考えます。</p> <p>いただいた御意見については、事業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。</p>
24	基本計画 (福祉と健康) (行政運営)	<p>87 ページ</p> <p>「新庁舎（仮称）新福祉会館の建設」は建設費高騰等で計画が中断されいる状態です。</p> <p>財政に大きな負担をかけない建設の見直が必要です。</p> <p>建設完成までに長くかかるのであれば、福祉会館だけでも早く建設して下さい。</p> <p>福祉会館・公民館本館は閉鎖されてから 8 年以上になります。年間 3 万人以上利用されている貴重な市民の施設。障害者・高齢者・子ども・町会等大変こまっています。福祉会館のない市など見当りません。福祉の 1 丁目 1 番地地の 1 つではないでしょうか。</p>	<p>いただいた御意見については、個別に検討が必要な事業となりますので、事業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
25	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>31 ページ</p> <p>施策 1 みどりと水の環境整備</p> <p>施策の方向性が 3 点記載されているが、小金井市の「みどり」を構成している住宅の庭や生け垣、立木の保全についての記載がない。小金井市には「生け垣を造成する方へ奨励金」や「保全緑地制度」があるものの、</p> <p>1) 業者が造成して販売する建売住宅には適用できない</p> <p>2) 「保存樹木」の適用基準が厳しすぎる</p> <p>3) 住戸立て替えに伴う庭木の移植には何らの支援措置がない など、一般住戸の「庭木」の保全奨励施策がない。今後、市内では、相続税納入のため、業者へ販売する住戸が増加することが見込まれるため、業者にも「みどり」の保全・植樹の奨励等も働きかける必要がある。については「制度の活用・しゅうちによる緑と水の保全」項目にある「指定開発事業」以外でも、一般住戸の立て替えや、庭木、生け垣の保全についての保全措置と「みどり」の保全制度の周知徹底についても触れてほしい。</p>	<p>本計画案には、民有地の生け垣や樹木等の保全のため環境保全緑地制度を周知すること、指定開発事業に該当しない規模の建築行為に対しては緑化指導を行うことを記載しています。</p> <p>なお、制度の周知については、更なる取組が必要であると考えます。</p>
26	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>37 ページ</p> <p>施策 4 市街地の整備</p> <p>武蔵小金井駅北口再開発について「商業、業務機能及び住宅の調和のとれた、みどりのある中心拠点として整備」とあるが、市内交通のハブである武蔵小金井駅北口は、市民の人流交叉点として極めて利便性の高い場所であることを考慮して「商業、業務機能」という表現を「公共性にも配慮した商業、業務機能及び住宅の調和の取れた、みどりある中心拠点としての整備」として”公共性”についても触れてほしい</p>	<p>武蔵小金井駅北口再開発について、公共性にも配慮していくことは大切だと考えます。</p> <p>いただいた御意見については、計画全体に関わる視点と考えられるため、個別に表現はしておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p>
27	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>38 ページ</p> <p>施策 5 住環境の整備の現状と課題に「まちづくり条例による宅地</p>	<p>宅地の細分化を未然に防ぎ、将来にわたって良好な都市環境を維持・形成することは大切だと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
	都市基盤)	細分化防止」という記載があるが、まちづくり条例には5,000平方メートル以上の大規模土地取引や開発事業のみ触れられていて、具体的に「細分化」を抑制する規定はなく、市長による指導又は助言を”行うことができる”と規定されているのみで、実際、指導又は助言で細分化が防止された事例も見当たらない。そもそも、小金井市内で5,000平方メートル以上の大規模造成が行われる可能性は低く、今後、相続税納税のために土地を手放す事例の増加が見込まれ、既存住宅地跡地の分割販売の抑制は、市内の既存の建ぺい率、容積率では不可能。よって38ページと39ページに記載されている実現不可能な「まちづくり条例による宅地細分化防止」という記載は削除すべきで、建ぺい率、容積率の強化など、別な方策について記載してほしい。	いただいた御意見については、個別に検討を要する事業の詳細となるため、今後事業を進める上で参考として、市へお伝えさせていただきます。
28	基本計画 (環境と都市基盤)	43ページ 施策7 交通環境の整備 交通ネットワーク再編事業については、運転者不足に伴う、ここバスの便数削減が計画されているが、”効率化と利便性”が図られる様子はない。大型二種運転手の不足に対応するため、普通・中型二種でも運行できるバンやマイクロバスによるAI オンデマンド”ここバス”の導入検討を視野に「交通ネットワーク再編事業」の項目は「限られた資源を最大限活用しながら効率化と利便性を図るため、AIを活用したオンデマンド・乗り合いバス・タクシーなどを活用した交通ネットワークの構築に取り組みます。」としてほしい。	御提案いただいた普通・中型二種でも運行できるバンやマイクロバスによるAIを活用したオンデマンド・乗り合いバス・タクシーなどあらゆる方策を検討することは重要だと認識しております。 本計画案ではなく、個別計画においては、必要に応じて関係者協議の場を設け、個別移動を担うタクシーやライドシェア等の活用に向けた調査・研究等の検討を行うとありますので、いただいた御意見については、事業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。
29	基本計画 (子どもと教育)	53ページ 施策12 子どもの育ちの支援 今後AIがますます普及、定着してくる時代には「創造性豊かな」子どもの育成が不可欠であるが、学校教育や、いわゆる「受験塾」は知識偏重に陥りがちで、教養ある創造性豊かな子どもは育ちにく	子どもたちが多様な体験を通じて創造的な力を育むことは、非常に意義深いものと認識しております。 いただいた御意見につきましては、子どもたちの成長に必要な体験ができるという考えもありますので、今後事業を様々な視点から検討する上で参考としていくべきものと考え

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		い。この点を踏まえ「豊かな体験や仲間づくりの支援」項目に「教養」や「創造性」というキーワードを盛り込み、「児童館や公民館等が行う体験事業」に加え、市内在住のシニアボランティアとの交流を通じた一般教養学習の促進や、学校教育では実施しにくい、理化学実験、工作教室などの開催可能性についても触れてほしい。これは、74 ページの高齢者の子どもとの触れあいを通じた「生きがいの充実」にもつながる。	えます。
30	基本計画 (子どもと教育)	61 ページ 学校環境の快適性 洋式トイレが増えて利用しやすくなったのはありがたいが、掃除が週一なので汚れていることが多いと子どもが言っていた。 清掃の回数が増やせるように、予算をつけてもらいたい。	学校環境の快適性については、子どもたちの衛生環境を守るうえで重要な視点であると認識しております。 今後、より快適で安心して利用できる環境づくりのため、清掃体制や予算のあり方についても児童生徒にとってより良い学習・生活環境を整備できるよういただいた御意見を参考にして進めていくべきと考えます。

※提出された意見は、原則として原文のまま全文を掲載します。